

別記様式（第5条関係）

会 議 録

会議の名称		令和6年度 第1回福津市観光産業活性化協議会
開催日時		令和6年9月3日（火）午後3時00分～午後4時30分
開催場所		福津市役所 別館大ホールCDE
委員名		（1）出席委員 永松毅文 増田美佐子 佐藤聡 浄見譲 森田誠 小役丸秀一 藤田裕美子 黒田伸太郎 山口尚志 （2）欠席委員 塩川浩一
所管課職員職氏名		観光振興課長 波多野哲平 商工振興課長 梶原龍生 観光振興係長 清水翔平 観光振興係 花田智美
会 議	議 題 （内 容）	1. 開会 2. 会議録の作成方針の決定 3. 議事 （1）令和5年度観光施策の報告 （2）令和6年度観光施策の報告 （3）情報の共有と発信についての確認 （4）観光情報サイト「福津ウェブ」 （5）その他 4. 閉会
	公開・非公開の別	☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部公開
	非公開の理由	
	傍聴者の数	0 名
	資料の名称	資料1 観光産業活性化協議会委員名簿 資料2 観光基本計画に基づく取り組み状況 資料3 観光振興における行政や各団体との関係性と福津の観光情報の共有と発信
会議録の作成方針		☐ 録音テープを使用した全文記録
		☒ 録音テープを使用した要点記録
		☐ 要点記録
		記録内容の確認方法 会長が指名する委員による確認
その他の必要事項		オブザーバーとして参加2名 ・（一社）ひかりのみちDMO福津 中村留美 ・（一社）ふくつ観光協会 中尾文則

審議内容 （発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1. 開会

2. 会議録の作成方針の決定

事務局：福津市附属機関の会議の公開に関する要綱、福津市会議録作成要綱について説明。

決定事項：会議の公開。事務局により会議録案を作成し、委員による確認の上で会議録の完成とする。

永松会長：出席委員のうち、小役丸委員及び藤田委員に会議録の確認依頼をすることの提案。

決定事項：会議録の確認は、小役丸委員及び藤田委員とする。

3. 議事

(1) 令和5年度観光施策の報告

(2) 令和6年度観光施策の報告

(事務局) 「資料2 観光基本計画に基づく取り組み状況」に基づき説明

(永松会長) 事務局からの報告について、ご質問などありませんか。

(佐藤委員) 例年と変わらないこととして説明がありましたが、商工会で実施している「福津の極み」認定事業について、今年度から新規認定は停止しています。現在はこれまでに認定している商品の価値観を上げ、周知広報活動に集中して実施することとしています。

(山口委員) 観光については、観光協会がメインとして存在し、組織されるものかと思っていました。しかし、福津市は宮地嶽神社のDMOがメインとなっているのは、なぜですか。

(浄見委員) 宮地嶽神社のDMOではありません。現在は私がDMOの代表を務めていますが、宮地嶽神社とは別の法人であり、金銭のやり取りもありません。DMOとは、地域の観光を活性化させるためにできた法人化された組織であり、商工会・観光協会・地元の事業者などの取り組みを積極的に応援していくのが基本方針でもあります。

(山口委員) JR福間駅2階のふくつ観光協会とDMOは繋がっていないということですか。

(事務局) 組織としては、別の組織です。

(山口委員) DMOの事務局は、どこにあるのですか。

(浄見委員) 津屋崎千軒なごみの中にあります。

(山口委員) 観光に関連することとして、「菖蒲まつり」というイベントがありますが、菖蒲苑近くの古民家が壊れそうですが、所有者は福津市ですか。また、移築したのは福津市ですか。

(浄見委員) 古民家は、宮地嶽神社の所有地にあり、宮地嶽神社が所有しています。また、40～50年程前に佐賀県の民家と築上郡の民家を宮地嶽神社の費用で境内地に移築したものであり、宮地嶽神社が皆様へ見ていただくために無料で提供しています。修理も行っており、現在はきれいな状態です。

(山口委員) 宮地嶽神社が所有する財産ということですね。

(永松会長) まずは議題に沿って進めたいと思います。貴重なご意見ですが皆様からのご意見は（５）その他でお伺いしたいと思います。

(３) 情報の共有と発信についての確認

(事務局) 「資料３ 観光振興における行政や各団体との関係性と福津の観光情報の共有と発信」に基づき説明。また、「福津のブランド・観光情報サイトふくつのじかん」及び「一般社団法人ふくつ観光協会」の各ホームページ画面を投影し、現状と今後の予定概要を説明。

(４) 観光情報サイト「福津ウェーブ」

(DMO) 福津市の観光情報サイト「福津ウェーブ」画面を投影し、一般社団法人DMOより、サイトの内容や構成、多言語対応やメディアへの情報提供などを説明。

(永松会長) 「福津ウェーブ」は、スマートフォン版でもとてもよくできていると思います。トップのページの一番下に福津市、観光協会、福津いいざい、福津の極みなどのホームページに遷移できるようにリンク設定もされています。議題（３）及び（４）の説明では、福津市としての観光情報の発信は、DMOの観光情報サイト「福津ウェーブ」に共有・集約することでお客様に向けた発信を行っていくという方向性を確認することができました。福津市のホームページ「ふくつのじかん」には、来年３月末で閉鎖することが掲載されていますが、そのお知らせには初見でもわかるように、今後「福津ウェーブ」を通じて観光情報を発信していくことが示されています。また、現状の「福津ウェーブ」の作りについても説明がありました。私は色々な観光情報のページを見ることがありますが、約８割の人がスマートフォンから情報を取りに来る中で、福津市の中では「福津ウェーブ」がすっきりしてビジュアル的にも一番良いと思います。委員の皆様からもご意見やご感想などをいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

(佐藤委員) 資料３について、司令塔という言葉に違和感があります。一般的に司令塔というと、組織全体の指揮を執るところで、誰かの指示に従って動く人がいるというイメージを持ってしまうと思います。私どもは、DMOとは協力関係にありたいと思っていますが、決してDMOの指示に従うといった認識では動いていません。司令塔という言葉はどのような意味でしょうか。

(事務局) 司令塔という表現は、観光庁がDMOについて説明する資料で使用しているため、福津市としても同じ表現を使用していました。観光地域づくりの側面において、DMOが作成した戦略やマーケティング等について一緒に協力、連携しながら進めていく中で、DMOがリーダー的役割を担うことを想定しています。しかし、司令塔という表現が誤解を与えてしまうことについては、申し訳ありません。あくまでも、観光の側面で旗を振る、方向性を示して皆様について来ていただけるように呼び掛けするという意味合いで使用しているため、旗印として見ていただければと思います。

(佐藤委員) この資料だけ見ると、同じようなイメージを持つ人がいるので

	はないかなと思います。DMOが、具体的な観光事業の企画、立案を行い、実行するために我々のような組織が協力、連携するという認識であればいいと思いますが、司令塔という文字が赤字で目立つように記載され、特に裏面の図では、DMOが司令塔として上にあるので、下に記載されている組織が指示に従って動くように捉える人もいるのではないかなと思います。
(事務局)	ご指摘の表現について、改めて、誤解を招いてしまい申し訳ありません。
(永松会長)	司令塔という表現は、上下関係を想像させるような言葉であるため、「旗振り役」という言葉でもいいのかなと思います。日本版DMOとして観光庁が進めています、DMOという略語では分かりにくい、観光地域づくり法人と訳されています。福津市の場合は、DMOという組織の他に観光協会という組織が存在するため、分かりづらくなっていると感じていましたが、福津市、観光協会、DMOが話し合っって今回の方針を作成されています。第3者が資料を見たときに誤解を招かないように、「旗振り役」ということが分かるように修正していただければと思います。他の皆様は、いかがでしょうか。
(増田委員)	ボランティアガイド会の立場として、福津市は世界遺産や古墳のあるまちというPRが弱い、少ないと感じています。消費を生む観光資源かはよく分かりませんが、古墳の中では初めて世界遺産になった新原・奴山古墳群が福津市にあることをもっと大事にしてほしいと思います。その上で、海や夕陽の魅力、イベントを発信してもいいのではないかなと思います。また、福津ウェーブの一番下に各団体などへのリンクがありましたが、皆で情報を共有し連携するのであれば、上の方に掲載されていてもいいのではないかなと思います。
(永松会長)	まとめると、「世界遺産の発信」と「リンクの位置を変えてはどうか」というご意見でした。リンクについては、スマートフォンとパソコンのどちらにおいても、ほぼ100%の観光情報サイトで一番下に掲載されているため、見る側は他エリアと同じ構成ということで迷わないのではないかなと思います。
(森田委員)	福津いいざいは、福津市の農水産品を市内外に広める取り組みを行っています。観光のことは詳しく知りませんが、福津市が作成している観光基本計画の内容を知っている人がどれほどいるのかなと思います。全部が中途半端で、福津市が何を推していきたいのかが分かりません。福津いいざいができて約5年間、東京など県外の催事でPRしていますが、福津市のことを聞いても宮地嶽神社しか知らない人が多い状況です。そのため、福津市が観光を推すのであれば、何を核にして盛り上げていくのかという話し合いをしないといけなないと思います。いつも中途半端でどうしたらいいのか分からないというのが感想です。
(小役丸委員)	民間企業であれば、進むべき方向性や理念があり、そこに皆が集合して一つに向かって進んでいると思います。皆様がそれぞれにイベントなどを頑張っって実施されていると思いますが、福津の観光の全体的な方向性や理念が見えないと感じます。観光

- には、農業、漁業、商工業など多面的なメリットがあると思うため、地域の皆様に喜んでもらえるように方向性を定めることが非常に大事だと思います。現在は、オーバーツーリズムなどにより「観光客＝迷惑」という風潮もある中で、そのような意見をカバーするためにも福津市の目指す道があった方が皆様が喜ぶものになるのではないかと思います。
- (藤田委員) 私もぼやけているなと思います。今まで観光情報やイベント情報を知りたいと思った時にはそれぞれの団体に確認をしていたため、情報が福津ウェブに一元化されて確認できるようになるのは情報収集がしやすくなると思います。福津ウェブは充実したサイトだと思いますが、情報を満遍なく収集するためにはマンパワーが必要だと思います。
- (黒田委員) 福津らしさが見えないというのが感想です。情報の発信について、福津ウェブは見た目もよく素晴らしい出来だと思う一方で、福津のことを知らない人に糸島のことだと紹介しても通じるように感じるため、今後の整備も必要だと思います。また、市民の中にも福津の良さを発信したい人は多くいると思うため、そのような小さな声も拾って発信することで、より福津らしい情報の発信ができるのではないかと思います。
- (山口委員) 福津の観光のキャッチフレーズがよく分かりません。宮地嶽神社や光の道に頼ってばかりではなく、キャッチフレーズを作成し、それに沿って魅力や拠点、宿泊や食事に繋げなければ初めて訪れる人には分かりにくく、行きたくないと思います。
- (浄見委員) 個人的にはホームページが分かりにくいと思っています。観光ポータルサイトという言葉が最近使用しないと感じる中で、どうすれば見に来ていただける人が増えるのかなと思っています。また、画像はきれいですが、何があるのか分かりにくく感じるため、食や住についての情報が最初に掲載されていたほうがいいのではないかと考えています。今後も作り込んでいく中で、皆様からご意見いただければと思っています。DMOとは直接の関係はありませんが、宮地嶽神社では今年、風鈴を昨年比 2,000 個増の 5,000 個にして風鈴まつりを実施しました。NHKで放送されて以降、午後 8 時～午後 10 時の間に期間中は毎日 1,000 人近くが来訪し、宮地嶽神社としても驚きました。さらに、多くの人が午後 8 時まで周辺のコンビニで過ごしていたことが後になって分かり、皆様のお店と提携していれば、お客様を流すことができていたなと思いました。風鈴を増やすだけで、このような大きなイベントとなったため、来年は例えば参道に福津いいざいの販売車を出してもらうなどの連携をして皆様が潤うように、そして、宮地嶽神社と地域がチームとなって情報発信を行うことで地元に大きく還元できるように、宮司としてもDMOとしても力を入れていきたいと思っています。また、風鈴まつりを訪れた人の多くが夜の時間帯に来訪していたことから、夏は暑さのため夕方から夜にかけて来訪する人が多いことが分かったため、色々な施策を通して人の流れを把握できることから、連携することが大事だと思います。今のとこ

(永松会長)

ろ少しだけ、うまくいっている状況だと思うため、もっと力を入れて取り組んでいくことで観光客は必ず増えると思います。皆様の意見や感想を公約数としてまとめると、福津ウェーブを観光情報の窓口とすることについて市から方向性が出されましたが、方向性としては間違っていないけれども、福津市として観光の核が何なのか、何を優先順位に打ち出していきたいのかを分かりやすく見せていけるのかがこれからの課題というご意見等が多かったと感じました。福津市の観光基本計画などで方針があるのであれば、どのような方針があるのか別の機会に提示いただき、本協議会として何をメインにするのか、どういった見せ方をするのかについてお話しできればと思います。また、福津いいざいに関しては、市外からの外貨を稼ぐために観光の食とどのように繋がり情報を発信していけるのか、今後工夫できるのかなと感じました。本日の議題については、事務局及びDMOから報告いただいたように、旗振り役を中心として福津ウェーブをメインに発信していくことが確認できました。また、何を核としていくのか、情報の拾い方をどのようにしたほうが良いのかなどについては第2回以降の協議会で議論する余地があると感じています。皆様、ご意見をいただきありがとうございます。ありがとうございました。

(5) その他

(永松会長)

事務局および委員の皆様からお伝えしたいことがあれば、お伺いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(事務局)

令和5年1月～12月における観光入込客数の速報値について報告します。年間の観光入込客数は、昨年比約60万人増の6,437,900万人、うち宿泊者数は、昨年比2,000人減の20,800人となりました。しかし、内容は現在精査中であり、一般公開している数値ではないため、参考値として口頭説明のみとさせていただきます。

(浄見委員)

どのような算出方法ですか。例えば、宮地嶽神社が600万人と報告してもいいのですか。

(事務局)

宮地嶽神社を含めた市内の観光スポットや宿泊施設への聞き取り調査を行い、その結果を積み上げた数値となっています。報告いただいた数値を参考にしますので、600万人であればその数値を参考にすることになります。

(藤田委員)

福津への来訪者がどの場所、お店に足を運んでいるのかをもっと深く知ることができたら、福津のアピールの仕方も考えやすいのではないかと思います。福津といえば海と宮地嶽神社の2本柱だと思うため、観光ポータルサイトでどのような打ち出し方をすればいいのかが分かれば、進め方が見えるのではないかと思います。

(小役丸委員)

岡垣町の海水浴場や福津市の海岸について、見てきていますが、海水浴客がおびただしく減少していると強く感じています。今までの海に対する見方が、海水浴ではなくなっているため、新しい海に対する見方を考えないといけないと思います。そのためにも、福津ウェーブは必要だと思います。

(浄見委員) 光の道の先に海があり、かがみの海として売っています。福津は、「海から来た神様のまち」というような海との繋がりがあ
るまちというアピールは良いと思います。「日本一夕日がきれ
いなまち」でもいいと思いますが、600 万人もの人が来てくれ
ているため、もっと取り込めると思います。取り込むことでも
っとすごいまちになり、もっと多くの人に来てくれると思いま
すが、市民からのうるさい等の声にも気を付けながらやってい
くことも大切だと思います。

(永松会長) 事務局から速報値のお知らせがありましたが、確定値が出た後
には 600 万人の内訳を教えていただければと思います。本日
は、市としての方向性について確認することができ、実際のホ
ームページについてもスクリーンに投影して説明がありまし
た。今後も、先ほどお伝えした課題に対して、どのように改善
されていくのかについて議論を深めていけたらと思っています
。以上で、議事を終了します。本日も、貴重なご意見をいた
だきありがとうございました。

4. 閉会